

FOREST しほ

11月19日(火)に、湯ヶ島国有林(伊豆市)と梨本国有林(河津町)にまたがる八丁池ブナ群落保護林(林木遺伝資源保存林)において、一般の方向けに自然観察会を実施しました。

八丁池周辺にはブナとヒメシヤラの混交林が広がっており、生態系や景観上貴重であることから、当署では保護林として管理しています。

深秋の八丁池ブナ群落保護林観察会



小雪が舞い風も強く寒かったです、快晴でした

当日は、公募による参加者25名と天城自然ガイドクラブの講師3名、当署職員6名の計34名が参加しました。小雪がばらつき、西風が強くとっても寒い一日となりましたが、天気は快晴で気持ちの良い青空が広がりました。
コースは、八丁池口駐車場からコルリ歩道→オオルリ歩道→青スズ台を経て八丁池展望台→八丁池で昼休憩→佐賀野入歩道→コマドリ歩道→ウグイス歩道を歩き八丁池口駐車場に戻る約5kmの行程でした。道は整備されており、全体的に歩きやす



かろうじて残っていた紅葉



すっかり葉を落としたフナ



八丁池の向こうに真っ白な富士山が!

かっただと思います。
コース沿いの植物についてガイドの楽しい説明を聞きながら、あっという間に時間が過ぎていきました。紅葉には少し遅すぎたため、メインのブナは葉を落としてしまっていました。独特の樹皮の模様や樹形が青空に映えてとても美しい風景が広がっていました。
また、「天城の瞳」とも言われる八丁池は、澄んだ青色の水面が太陽の光できらめき、神秘的な光景でした。今回の観察会で、参加者の方には天城の魅力がたっぷり伝わったのではないかと思います。(21)



ガイドの楽しい説明で植物への興味も広がります